



2018年8月2日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピティクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号:4576)  
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也  
TEL 052-218-8785

## 米国 Glaukos 社と緑内障治療製品における共同研究並びに ライセンス契約締結のお知らせ

当社は、米国 Glaukos Corporation (米国カリフォルニア州、ニューヨーク証券取引所上場、以下、「Glaukos」) との間で、緑内障患者における眼圧降下治療用の新規眼内投与製品の創出を目的とした共同研究 (以下、「本共同研究契約」) 並びにライセンス契約を締結することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

本共同研究契約では、緑内障患者の眼圧をコントロールする新規の眼内投与製品の開発に向けた共同研究を実施いたします。Glaukos が目指す新規の iDose™ ドラッグデリバリーシステムで使用される可能性のある新規化合物を探索するために、当社の基盤技術の1つである Rho キナーゼ阻害剤<sup>(注1)</sup>の独自化合物ライブラリー<sup>(注2)</sup>から化合物を提供し、もしくは当社で新たに化合物の創製を行い、Glaukos がそれらの化合物の評価及び開発を実施いたします。

当社は、本契約締結時に Glaukos からテクノロジーアクセスフィー及びその後の研究費を受領いたします。

なお、本共同研究契約には、今後開発を進めることになった場合についての2種類のライセンス契約も組み込まれております。

1つ目は、Glaukos が本共同研究を進めて見出された前房内投与化合物を含有する前房内投与製品を米国 FDA (Food and Drug Administration: 米国食品医薬品局) に IND 申請 (Investigational New Drug application: 治験許可申請) を行い、IND 申請が FDA に受理された場合、緑内障を治療するための前房内投与使用領域の全世界の独占的実施権を許諾 (=ライセンスアウト) いたします。その際、当社はライセンスアウトにかかる契約一時金を受領し、その後は開発及び販売の進捗に応じたマイルストーンフィー、並びに製品の販売後は、販売高に応じたロイヤリティを受領いたします。

2つ目は、当社が Glaukos に対して、本共同研究における候補化合物を使用して局所投与製品を開発し IND 申請を FDA に行うことが出来るオプション権を付与します。オプション権が行使された場合、当社は一定のオプション料を受領します。

Glaukos は、オプション権を行使し、局所投与化合物を含有する局所投与製品を米国 FDA に IND 申請を行い、IND 申請が FDA に受理された場合、緑内障を治療するための局所投与使用領域の日本を除く全世界の独占的実施権の許諾（＝ライセンスアウト）いたします。その際、当社はライセンスアウトにかかる契約一時金を受領し、その後は開発及び販売の進捗に応じたマイルストーンフィー、並びに製品の販売後は、販売高に応じたロイヤリティを受領いたします。

Glaukos は、緑内障に関連する治療に特化し、革新的な治療法と製品を開発し市場への導入を目指す眼科専門企業です。同社は、これまでの緑内障の治療と疾患の管理に変革をもたらすために、極低侵襲緑内障手術（MIGS：Micro Invasive Glaucoma Surgery）を開拓し、最初の MIGS デバイスである iStent®を、2012年に米国で発売いたしました。現在、独自の薬剤徐放デバイスを適用した Travoprost 製剤 iDose™ Travaprost の緑内障を対象とする臨床試験を米国で実施しております。

当社は、Glaukos との共同研究により、新規性の高い緑内障治療製品を創出できることを期待しています。

なお、2018年12月期の業績予想はレンジとなっているため、本件による業績予想の修正は行いません。なお、今後、業績に影響を与える事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

#### Glaukos Corporation について

(1)名称	Glaukos Corporation
(2)代表者	CEO：Thomas W. Burns
(3)所在地	229 Avenida Fabricante, San Clemente, CA 92672 United States
(4)設立年月	1998年7月
(5)純資産	138,202千ドル（2017年12月期）
(6)事業内容	緑内障治療のための外科用デバイス及び持続的な治療法の開発・商業化
(7)URL	<a href="http://www.glaukos.com">http://www.glaukos.com</a>

以上

#### 用語解説

##### （注1）阻害剤

生体内の様々な酵素分子に結合して、その酵素の活性を低下若しくは消失させる物質を指します。化学物質が特定の酵素の活性を低下若しくは消失させることにより、病気の治療薬として利用されることがあります。

(注2)化合物ライブラリー

化合物ライブラリーとは、当社が長年にわたり蓄積してきた新薬候補化合物のタネとなる化合物群です。これらの化合物の一つ一つが特徴的な性質を有しており、基礎研究や新薬候補化合物発見に利用されます。